

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス事業所Ao		
○保護者評価実施期間	R7年8月5日～		R7年8月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)16
○従業者評価実施期間	R7年8月5日～		R7年8月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年8月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ひとり1人に応じた支援を個別や小集団で受けられる専門療育があり、又、他児童と触れ合える様々な体験活動を曜日ごとに設定し総合的に支援している事。 ・保護者様が子供さんに受けさせたい専門療育を利用日に毎週、又は隔週で受けられること。	・支援計画に沿って、必要な専門療育を組み込み、また、様々な体験ができるよう体験活動を工夫している事。 ・夏休みなどの長期休暇には、社会見学などをふんだんに取り入れ、普段できない経験を行っている。 ・毎週の職員会議で日々の児童の様子を話し合い、必要な活動を計画的に取り入れている。	・1人ひとりの状態をより細かく話し合い、療育の内容、その時の必要な対応の仕方などを職員が共有していく。 ・活動内容をより充実してものにするために、色々な角度で年間通しての活動を考えていく。
2	・法人内には、保育園、児童発達支援、就労支援、高齢者施設が併設している為、交流もスムーズにできる事。 ・就労支援支援施設が身近にある為、見学することも可能であり、放課後等デイサービス終了後の事を考える際に参考にする事が出来る事。	・専門療育の音楽療法での演奏を、高齢者施設で披露し、児童の自己肯定感を高めると共に、高齢者の方との触れ合いをする事を今後も続けて行っていきたい。	・同法人にある就労支援事業所の作業を見学する機会を増やし、体験なども含め経験の幅を広げていく。
3	・定期的にInstagramや保護者様への活動のライン配信をする事で日々の活動を見て頂き、活動内容を理解して頂いている事。	・個人情報に留意し、専門療育の様子や体験活動の様子を定期的に各家庭に配信し、事業所での様子を保護者様に見て頂き療育についての理解を深めて頂いている。	・配信を定期的に行い、療育への理解を更に深めて頂く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会活動、父母の会はないが希望者を募り、茶話会を行っている。参加者が少なかったため、保護者同士のつながりを希望されている方にとっては、まだ不足している。	・茶話会の日時や周知の方法がまだ、不十分だったのではないと思う。	・茶話会に来られた方については、大変喜んで頂けた為、気軽に話せる場所として、参加して頂ける様な日程や時間帯、時期、年間回数を考えていく。
2	・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っており、Instagramや月1回のAo便りで配信しているが保護者様に周知できてない。	・お便りやInstagramだけの報告では、個人差があり、皆さんに伝わらないのではないと思う。	・保護者様全員に伝わる様、室内に展示したり、Instagramやライン配信を個々に行っていく。 ・毎日利用する児童は少なく、曜日毎で利用する児童が多い為、より多くの児童が避難訓練を体験できる様、月ごとの日程を設定していく。
3	・室内の広さについて、基準は満たしてるいるが専門療育との兼ね合いもあり、室内での活動に制限がかかってしまう時がある。	・民家をリノベーションしての事業所の為、専門療育と体験活動を設定しにくい面がある。	・室内だけに限らず、天候によっては室外や法人の広場、果樹園、温室など、豊富な資源をどんどん活用し、なかなか他では体験できない活動を計画していく。